

(様式3)

令和8年度 宇都宮市若者自立支援ステップアップ事業実施業務に係る
企画提案書

I 実施体制・実績

(1) 組織体制

※ 事業者内での本業務の運営体制について示すこと（外部団体との連携等があれば記載すること）。

(2) 人員体制

ア 事業責任者となる職員の実績

氏名

生年月日

資格

経歴（卒業した学校，勤務先での役職・役割，相談・支援業務の職歴等を記載すること）

イ 事業コーディネーターとなる職員の実績

氏名

生年月日

資格

※原則，下記のいずれかの資格を有すること

公認心理師，臨床心理士，精神保健福祉士，産業カウンセラー
もしくはこれらに準ずる資格

経歴（卒業した学校，勤務先での役職・役割，相談・支援業務の職歴等を記載すること）

ウ その他，配置予定の職員

(3) 事業実施場所の活用方法（想定する支援対象人数，活動時の部屋の配置が分かるレイアウト），屋外活動時における利用者の安全管理の対策

(4) これまでにおける類似業務の実績と本業務に活かせるノウハウ

II 事業背景の認識・実施方針・本市との連携

(1) 事業背景の認識

※ 事業実施の背景について、国や市の動向を踏まえ、本事業の利用者を取り巻く社会情勢の現状と利用者が抱える課題の認識について示すこと。

(2) 実施方針

※ 事業背景を踏まえたプログラムの企画や実施の考え方、自立に困難を抱える若者への支援を行う上での考え方や必要な配慮などについて示すこと。

(3) 本市との連携

※ 事業を実施する上で、利用者一人一人に合った支援を行うために、本市の相談支援とどのように関わっていくことが重要かを示すこと。

III 提案内容

(1) 実施回数

(2) プログラムの企画内容

※ 仕様書に記載されている下記のプログラムについて、それぞれ具体的な内容を示すこと。ただし、ア～オについては必須。カは自主提案がある場合のみ記載すること。

ア 健康管理や身だしなみの習慣づけ，経済的な生活管理等，基本的な生活習慣の習得に向けたプログラム

イ レクリエーションやスポーツ，農作業体験等，心や体を鍛えるためのプログラム

ウ コミュニケーション講座や自己理解を深めるための講座等，円滑な対人関係を築くためのプログラム

エ アート体験やパソコンのソフト体験等，個人の興味・関心を広げるためのプログラム

オ 社会とのつながりをつくるためのボランティア活動や会社見学等，社会に対する視野を広げ，将来の選択肢を増やすための社会体験・経験機会を提供するプログラム

カ その他，若者の自立に向けて必要な経験の場を提供するプログラム

(3) 利用者への配慮

※ ひきこもり回復期（センターへの定期的な来所はできるが，他者との関わりを持つことが困難な状況）にある若者への対応の仕方や内容について具体的に示すこと。

(4) 効果的な情報発信

※ 本事業の周知を図るための効果的な情報発信の手法について，活用媒体や発信時期などを具体的に提案すること。

(5) プログラムの効果検証

※ 実施したプログラムについて効果を評価し，必要に応じて修正等を行い，利用者ニーズに合った企画に反映させるための手法を具体的に提案すること。

※記入欄が不足する場合は，各項目ともA4判縦で別紙に記載すること

(様式4)

令和8年度 宇都宮市若者自立支援ステップアップ事業実施業務に係る
地域経済貢献度

	第三者に請け負わせる業務の内容	発注予定の 市内業者名	発注予定金額
1			
2			
3			
4			
5			
6			

(様式5)

令和8年度 宇都宮市若者自立支援ステップアップ事業実施業務に係る
価格提案書

(合計額)

金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(内訳)

項目	金額 (円)	備考
人件費		
(内訳：事業責任者)		
(内訳：事業コーディネーター)		
(内訳：講師)		
教材費		
屋外活動体験の提供に要する費用		
(内訳：謝金)		
(内訳：消耗品費)		
(内訳：交通費)		
消耗品費		
通信費		
印刷費		
広告宣伝費		
保険料		
その他		

注1) 本書への記載金額は、消費税及び地方消費税を除いた金額を記載すること。

注2) 内訳について、参加者の提案に応じた内容で記載すること。

注3) 欄が不足する場合は適宜欄を追加すること。

注4) 各費目の詳細内訳を別添で付けること (自由書式)。